

冬の道路の確保は みんなの協力で

除雪

いよいよ本格的な雪のシーズンがやってきました。村では例年のように通勤、通学や社会活動に一時も支障を来さぬよう道路除雪や防災対策について体制を整えています。

道路除雪作業で、一番効率を妨げるのが路上駐車や、障害物の放置などです。道路除雪が円滑にできるよう次の点について地域のみさんのご協力をお願いします。

道路の夜間駐車は禁止
12月1日～3月末日

除雪作業は、夜間作業が多いため道路に物件を放置しないでください。除雪作業に大

きな支障をきたすだけでなく、損傷事故のもとになります。そこで十二月一日から、翌年三月末日迄の間、駐車禁止となる道路がありますのでご注意ください。

道路に出ている樹木の枝切りを
除雪車は、普通のトラック等と違い車高が高いため、雪の重みで、道路上へ木の枝や竹などが垂れ下り作業を困難にする場合が多いので、雪の降る前に伐採しておいてください。

雪が意外に遠くまで飛ぶのと、除雪機を広くとるため、道路端のガラスなどをいためる場合がありますので、前もって、防護柵を設けてください。

雪を道路に出さないでください
除雪した雪や、屋根からおろした雪は、道路に出さないでください。車の通行が危険になると共に、スリップ事故のもとになります。

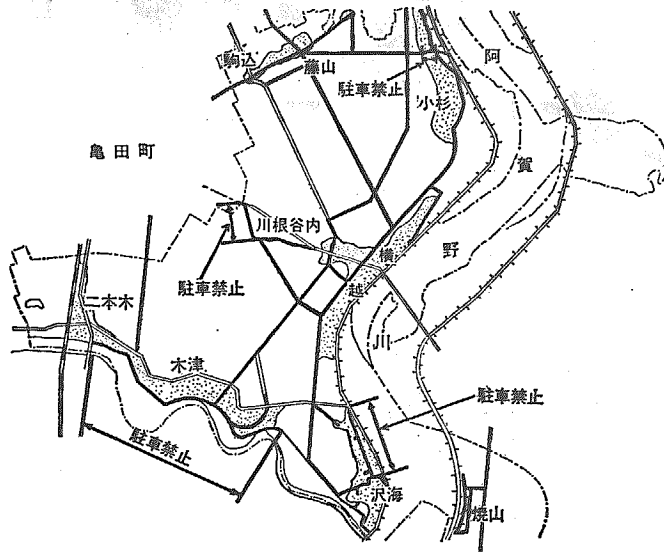
このたび、県では、スパイクタイヤの使用に伴う道路の損耗や生活環境に対する影響が心配されることなどから、当面の施策として「スパイクタイヤ不使用に関する実施要綱」を制定しました。

この要綱の趣旨は
1. 四月一日から十一月三十日までスパイクタイヤを使

お願い
スパイクタイヤ
不使用にご協力を

用しない。
2. 他の期間以外でもできるだけ、スパイクタイヤに替えてタイヤチェーンを使用する。
というものです。
この趣旨を十分ご理解いただき、その目的が達成されるようご協力をお願いします。

村道の主要除雪路線



除雪計画路線

主要幹線——村有機械で実施するが一部建設業者に委託
地区内道路——建設業者に委託
国道49号線——建設省担当
県道(新潟～横越線、酒屋～沢海線、大江山～五泉線、沢海～荻島線)
一新潟県担当

昭和59年度

保育園児募集

受付は1月24日まで

地区	日	時	場所
横越・小杉	一月二十三日	9.00～12.00	役場第2会議室
藤山・駒込	一月二十三日	午後1.00～4.00	
沢海・木津	一月二十四日	午前9.00～12.00	役場第2会議室
二木	一月二十四日	午後1.00～4.00	

昭和五十九年度の保育園児入園申請を次によう受付します。

なお、現在入園中の者でも引き続き入園希望の場合も、必ず申請してください。

◎申請に必要なもの
1. 入園申請書
2. 勤労所得者は、昭和五十八年分の源泉徴収票(幼児の両親、祖父母)これがない場合は、「勤務証明書」「内職工資支払証明書」を必ず添付ください。

◎受付期間
昭和五十九年一月十七日から一月二十四日まで

◎受付場所
役場保健福祉課
なお、下記により集合受付を行いますので、なるべく当日おいでください。

◎入園決定通知
昭和五十九年三月初旬頃に個人通知いたします。

◎保育園の目的
幼児の保育は、本来家庭において保護者が行うことが最も自然で、理想の姿といえます。

しかし、保護者が勤労又は疾病などで、家庭に保育するものがなく十分な保育ができない幼児を家庭の保護者にかわって保育する施設が保育園です。

一周伝 村内一

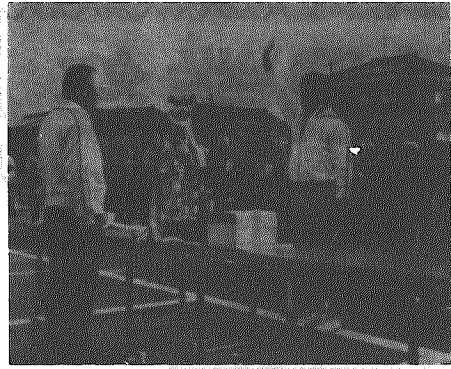
横中バスケットAが優勝

藤駒のママさん完走、目標果す

時折、冷雨が激しく降り、最悪のコンディションとなった。公民館主催第六回村内一周伝

成異色チーム(うち夫婦二組)も参加、若い人にまじってどこまで対抗できるか興味もたれました。

NSC(小杉上)の中村武さんの選手宣誓のあと、丸庄商店前をスタート、一区から早くも横中バスケット男子Aが先頭に立ち、山崎製パンと昨年優勝した木津がそれを追う形でレースが展開されました。



選手宣誓する中村 武さん

全区間最終トップを走っていた横中バスケット男子Aが激しく追走する山崎パンを一四秒差(約一〇〇分)でふりきり優勝しました。

伝大会が十一月十三日行われ一九・六キロメートルを全チームが完走。横越中学校バスケットボール男子Aが一時間一十二分一〇秒のタイムで優勝しました。

今年大会は、これまで最高の一九チームが参加、中学生の各スポーツクラブから三チームの参加と、女性参加(六チーム三十四人、うち中学生四チーム)がめだちました。

また、平均年齢三十八歳という女性五人、男性一人の混

女性チームのトップは、横中バスケット女子Cで、総合一二位でゴールしました。注目の男女混成の「六人の星と流星」(藤駒)は、一時間四十三分三秒で最下位。しかし、この大会をめぐって二週間前から毎日練習した成果が実り完走。アンカーの小武正子さんは

「途中、激しいみぞれで顔がいたかった。でも、主人や皆さんがここまで走り続けゴールについたとき、ヤッターと思ひ、何んともいえない気持ちでした。」

また、トップを走った渡辺智恵子さんは、「完走が目標でした。しかし、三年前主人たちが走ったタイムより二分ほど遅れたのが残念、来年も

出場したい。もっと婦人の参加を期待したいですね」と話す。完走の労をねぎらい、満足そうなお主人たちの顔が印象的でした。

▽一位 横越中学校バスケットボール男子A(小木秀之・遠藤直志・神田達郎・江口喜一郎・山田明夫・水上博之・小木直人) 1時間12分10秒
▽二位 山崎製パン1時間12分24秒
▽三位 木津1時間15分16秒
▽四位 横中バスケット男子C 1時間15分50秒
▽五位 横中野球部
▽六位 横中陸上競技同好会

親子ふれ合いウォークラリー

松本・泉組が一位

青少年育成横越村民会議では、自然の中で親子のふれあいを深めようと、十一月六日第二回ウォークラリーを開きました。

ウォークラリーは地図に示されたコースを決められた時間を正確に歩き、しかもチェックポイントには質問事項が貼り出され、それを解答するというゲーム。今回のコースは、公民館周辺の横越地区で指定時間が五〇分、五カ所のチェ



「この問題むずかしいね」チェックポイントで解答する親子

婦人会、美浦村で交歓会

村連合婦人会は、十一月八、九日姉妹村の茨城県美浦村を訪れ、地元婦人会と交歓研修を行ない友好を深めました。

美浦村を訪れたのは、十五年ぶりのこと。山崎公民館長、佐久間

美浦村婦人会は、平均年齢が二十七、八歳と若く、高齢になること、農協婦人部に入会すること、本村とは正反対で驚いていました。

来年は美浦村婦人会を本村に招くことを約束し、帰朝されました。

第32回俳句作品集 大勢の方の投句を

句題。しずり(又は、しずり雪、垂れ)
。埋火(又は、いけ火、いけ炭)
。枯萩(又は、萩枯る)

三題通じて六句を横越村民館に投句してください。
昭和58年12月14日

何分たつたのか、時間が気になる様子。コースを一部まわが、後のチームに追い越された組もありましたが、なんとか全組がゴールインしました。

その後、映画をみたり、お昼には持参したおにぎりとお漬物が用意された汁で親子が楽しく語りながら食へていました。

結果は、
一位 松本・泉組 (沢海)
二位 小池・加藤組 (横越)
三位 五十嵐・石井組 (木津)